日本共産党の一般質問「平和の取り組みについて」（表面の続き）

戦後 80 年にあたり、平和にかかわる交野市の取り組みについて質問しました。

祝園弾薬庫について

【質問】精華町にある陸上自衛隊祝園分屯地では、ミサイルなどを保管する大型弾薬庫 14 棟もの増設にむけて、８月に工事が開始された。

交野市も１０キロ圏内にあり、弾薬庫の安全性、万一の事故や有事の際の影響などについて、把握しておく必要があると考えるがどうか。

【答弁】今年６月５日に、こちらの求めに応じて近畿中部防衛局の職員が来庁され、火薬庫の安全性について、火薬庫の構造や保安距離が決められていることなどの説明を受けた。市としてこれ以上の説明はできない。

交野から１０km圏内に大型弾薬庫！

【意見】引き続き、状況把握と住民の懸念の声を届けてほしい。

被爆アオギリの普及　交野市もぜひ参加を

【質問】 今年の交野市平和祈念の映画会で、広島で被爆したアオギリの木の苗を、全国の小学校などで、平和のシンボルとして育てる取り組みが紹介されていた。

交野市も加盟する「平和首長会議」でも、被爆アオギリの苗の普及活動をしている。ぜひ交野でも、取り組んでほしい。

【市の答弁】

平和意識の醸成等のため、当該事業について、学校や公共施設をはじめ全庁的に周知を図りたい。

いきいきランド「平和の展示」の充実を

【質問】 いきいきランド１階ロビーに、平和の大切さを伝えるため、戦争中、星田北で米軍機に撃ち落された戦闘機「飛燕」の部品が展示されている。しかし、説明等も少なく、何の展示か分かりにくい。平和学習につながる改善・充実をしてほしい。

【市の答弁】

限られたスペースであるが工夫・改善したい。

いきいきランドの展示